

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	介護計画書作成が作成者中心になっている。	サービス内容を作成者だけが考えるのではなく、介護職員も発案し取り入れる環境を作る。	月1回のユニット会議にて、モニタリング、カンファレンスだけでなく、今後のサービス内容の意見も介護職員から意を見出して頂ける様会議の司会進行をする。	1ヶ月
2	33	利用者の重度化も著しく、終末期をホームで希望されている方もみえるが、看取りを実施した事がなく知識がない。	職員全員が看取りケアの知識をつける。	ホーム内研修にて医師、看護師に協力頂き、看取りケアについての研修会を実施。	2ヶ月
3	35	災害発生時地域の協力が不可欠だが、地域との連携体制が整っていない。	ホーム、地域の避難訓練に参加し、お互いに協力し合える関係性を構築。	運営推進会議にて自治会長、民生委員の参加もあるため、避難訓練の実施日等の報告、質問をし開催日を把握する。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。